参加無料

ＣＡＰおとなワークショップ

こどもがSOSを出せる地域をつくる！



2026年 **12月8日 [火] 18:00-20:00**

会 場 シャボン玉石けんくくる糸満 多目的室

虐待、いじめ、性暴力、体罰など何らかの被害を受けていても、そのことを誰にも話せず、ひとりで苦しみを抱えているこどもは大勢います。ときには周りに対して暴言・暴力をふるうなど攻撃的になったり、自分の殻に閉じこもり心を閉ざしたり、様々な形として表れるこどものＳＯＳ。

こどものちょっとした変化を見逃さず、声にならない小さなSOSにも気づくために必要な視点と、気づいたときに私たちはどう対応すればいいか、一緒に考えてみませんか。

こどもの権利が守られ、ＳＯＳをしっかり受け止められる地域をつくるためにご参加ください。

内 容

- ✓ こどもが出会うかもしれない「暴力」とは
  ―被害からこどもを守る方法
- ✓ ＣＡＰこどもワークショップ体験
  ―こどもの権利「安心・自信・自由」
- ✓ こどものSOSに気づく視点と適切な支援
- ✓ こどもの力を引き出す関わり方とは
- ✓ こどもを守るためにおとなにできること

対 象 関心のある方はどなたでも

講 師 おきなわＣＡＰセンター

CAPとは

Child Assault Prevention（こどもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、こどもが暴力から自分を守るための予防教育プログラムです。おきなわCAPセンターは1996年に発足。県内各地の小学校を中心に、保育園、幼稚園、こども園、中学校、高校、児童養護施設、各市町村、教育関係機関、地域などでワークショップ、講座、研修会を実施しています。

参加者からの感想



- 子どもに対する声かけなど具体的な方法まで聞くことが出来て良かった。楽しく学ぶことができた。
- こどものSOSにどう気づき、どう対応するのかを学べた。
- 現在、さまざまな理由で登校ができない生徒の対応をしています。今日の内容を活かして対応していきたいと思います。
- 子どもを勇気づける言葉を大切に、子どもの自己肯定感が高まるような保育を行っていきたいと思った。
- ロールプレイなどイメージしやすい進め方でわかりやすかった。洗練された、ムダのないプログラムだと思った。
- 子どもが自分で自分を守ることができる大切な知識、学習だと思います。CAPが教育プログラムに組み込まれたら子どもたちの権利を守ることもできる。もっと学校にCAPが浸透したらいいのになと思いました。

問合せ先 糸満市子育て応援課　竹内/泉川　098-840-8139

申込方法 右のロゴフォームよりお申し込みください　**定員80名**

主催：沖縄県　共催：糸満市　事業受託：特定非営利活動法人おきなわCAPセンター